

## 「陸前高田市人口ビジョン及び第3期陸前高田市総合戦略(素案)」に関する パブリックコメントの実施結果について

人口減少が進む中にも持続可能なまちづくりを進めていくことを目的に策定する、「陸前高田市人口ビジョン及び第3期陸前高田市総合戦略」について、広く市民の皆様からご意見等を伺うため、パブリックコメント(意見公募)を実施しました。

お寄せいただいたご意見と市の考え方は下記のとおりです。  
たくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

### 1 意見募集期間

令和8年2月21日(土)から3月22日(日)まで

### 2 意見の件数

提出者数 15名

意見数 32件

お寄せいただいたご意見の概要と市の考え方

資料1

No.	該当項目	意見原文	意見の概要	意見に対する市の考え方	担当課室
1	全般	<p>「共創」は今後のまちづくりの非常に大事な視点ですが、素案の基本的な考え方に入っていないのでぜひ入れた上で、共創についての解説をお願いします。なぜ重要かという、これまで言われてきた「協働」では明確な目的に向かって固定的な役割分担を行ってきたのに対して、「共創」では「問い」が出発点で、役割も流動的(できる人が、できることを、できる時に、できるように)という震災復興地域である意味当たり前のよう実践してきたことだからです。それが「共創」という言葉として次世代に向けた考え方になっています。成果も想定外のこともあり、キーワードは対話と気づきです。</p> <p>「対話」という用語は各方面で使われるようになっていますが、思春期の不登校やひきこもりの原因も対話の不足や欠如から起こるとされており、「人を育み、市民とともにつくるまち」を進める上で基本となるのが対話です。実際、陸前高田市は長年にわたり「はまてけらいん、かだつてけらいん運動」を推進し、2010年、2015年の女性の平均寿命が岩手県No1に押し上げるという想定外の成果を出しています。「対話が活発な陸前高田市に住めば、一人ひとりのこころも元気になる」ことを盛り込んでください。</p> <p>基本理念が『「創造」と「共創」のステージへ』となっていますが、『「共創」のステージへ』でもいいと思いました。もし「創造」を残すのであれば基本目標の中にも入れたいところです。</p>	<p>「基本的な考え方」に「共創」「対話」の要素、解説を盛り込んでほしい。</p>	<p>市民ひとりひとりが対話を重ね、活発で元気な地域にしていくことが本市の魅力向上や関係人口の創出につながるものと考えますので、「対話を通じた共創」の視点を基本方針に盛り込むこととします。</p>	企画政策課
2	全般	<p>陸前高田市はこれから人口密度が低下してくるので、もっと全体的な会議やイベントを興して、互いに集まる、助け合えるまちづくりが必要。</p>	<p>会議やイベントの実施により、市民が集まり、助け合える機会の創出が必要ではないか。</p>	<p>No.1と同様、市民の皆様が対話を重ね、助け合っていけるような場の創出に向け、「対話を通じた共創」の視点を基本方針に盛り込むこととします。</p>	企画政策課
3	基本目標1	<p>基本目標1の「関係人口の創出」というタイトルからは陸前高田市内のつながりの創出というイメージが出てきません。関係性の喪失が社会問題と言われて久しいのですが、基本目標のトップに地域内の「つながりの創出」を入れつつ、漫画では「人はつながることで癒される」、「対話をする事で癒される」ということを入れて「住みたいまち陸前高田」を前面に出せたらと思います。「関係性がうざいから流出している」という指摘もあると思いますが、実は「対話(dialogue)」ではなく「独り言(monologue)」が横行する社会ははつきり言って「うざい」です。しかし、正解を押し付けない「対話型社会」では生きづらさは少なくなり、住みやすいまちになります。</p>	<p>基本目標1に、市内・地域内のつながりの創出に関する記述を盛り込んでほしい。</p>	<p>基本目標1に掲げる「関係人口の創出」を推進するためには、このまちの魅力を高め、まずはこの地域に住む市民の皆様に住みよいまちだと感じていただくことが必要と考えます。その点で、市内のつながりの創出という視点は重要ですので、基本目標1に対する基本的な視点に盛り込むこととします。</p>	企画政策課
4	基本目標1	<p>名古屋市と陸前高田市の名産物を使い、コラボ料理などを作りSNSで発信する。</p>	<p>名古屋市と本市の名産物によるコラボ料理などを作り、SNSで発信してはどうか。</p>	<p>これまでも、市内飲食店での「名古屋めし」の提供や、本市の特産品である「北限のゆず」を使用した名古屋名産「守口漬」の試験販売など、食の分野での連携も行ってきたところです。いただいたコラボ料理の開発やSNSでの情報発信は、市内飲食店の集客力の向上に加え、名古屋市との長期的な交流の促進にもつながることから、今後の連携事業の参考とさせていただきます。</p>	商工観光課
5	基本目標1	<p>箱根山テラスのことを多く発信する。 →高い所から陸前高田のうみが一望できるので絶景スポットとして紹介できる →左官伝承館のことや希望の灯りを知ってもらおうきっかけになれる</p>	<p>箱根山テラスのPRに力を入れてほしい。</p>	<p>市内観光施設や宿泊施設については、現在、陸前高田市観光サイト高田旅ナビ及び陸前高田市観光物産協会公式Instagramを中心に継続的に情報発信を行っているところであります。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます、より多くの方に市内の魅力が伝わるよう、効果的な情報発信に努めてまいります。</p>	商工観光課

No.	該当項目	意見原文	意見の概要	意見に対する市の考え方	担当課室
6	基本目標1	陸前高田に関連する花(椿、全国植樹祭で植えた物)で花畑を作る。	本市に関連する花で花畑を作ってはどうか。	本市の市花である椿については、現在レッドカーペット・プロジェクトと連携協定を締結しており、高田町の平地部での植樹活動が行われているところです。今後も運営する民間企業と連携しながら、椿のある景観の創造や、椿を活用した産業の育成支援を図ってまいります。  全国植樹祭で設置したプランターの花は、市内各公共施設に配分し、多くの人にご覧いただいております。	農林課 商工観光課
7	基本目標1	三陸花火大会を復活させる。	三陸花火大会を復活させてほしい。	花火大会の復活については、前回中止となった大会の未返金問題等、整理すべき課題があると認識しております。一方で、花火大会は本市の貴重な観光資源であったと認識していることから、現状の課題を整理しつつ市内関係事業者等と連携しながら花火大会の復活について検討を進めてまいります。	商工観光課
8	基本目標1	イベントや交流などを行いさまざまな人たちと関わって行く機会をふやしてほしい。	イベントや交流の機会を増やし、地元に残る人・新たに住む人の増加につなげてほしい。	産業まつりやマラソン大会等、様々な交流の場を設けているところですが、引き続き市内が盛り上がるようなイベントを開催し、交流人口及び定住人口の拡大に努めてまいります。	交流推進課
9	基本目標1	陸前高田市は、名古屋市やクレセントシティ市などと交流しているから、それを交流として終わらせるのではなく、陸前高田市で暮らしてもらえるような取り組みが必要であると思った。それが、関係人口の創出につながると思った。そのためには、お互いのまちについてよく理解することや、交流団体のまちの尊重など、やるべきことが多くあると思った。また、来てもらうだけでなく、戻ってきてもらうことも大切だと感じた。交流を通じて、相手に共感することもあると思うが、それでもやっぱり地元がいいと思って故郷として帰ってきたくなくなるようなまちづくりができると、人口減少を阻止し、食い止めることができるのではないだろうか。	友好都市等との交流や地元出身者の地元への思いを、本市への移住定住につなげられるような取り組みが必要ではないか。	友好都市との交流により、良いところは積極的に取り入れながら、ふるさとへの想いがより強くなるようU・Iターン施策との連携も図っていくため。基本目標1の基本施策②に、U・Iターン施策の充実に係る記述を追加します。	交流推進課
10	基本目標1	若者が地元に戻ってきたくなくなるようなまちづくり。	若者が地元に戻ってきたくなくなるようなまちづくりを進めてほしい。	自然環境や食・文化など地域の強みを活かした魅力的なまちづくりに努めるとともに、若者のUターン支援制度を充実していくため、No.9と同様、基本目標1の基本施策②に、U・Iターン施策の充実に係る記述を追加します。	交流推進課
11	基本目標1	私は実際に名古屋市や、クレセントシティ市との交流を通して両市の絆を深め、関係人口を増やすことができていると感じています。こうした交流は陸前高田市のまちづくりをより良いものにしてほしいです。また、滞在型観光では民泊をすることで陸前高田市ならではの魅力を地域の方と触れ合いながら知ることができる機会なので良いと思います。	関係人口増につながる友好都市との交流を今後も続けてほしい。また、滞在型観光につなげる意味でも、本市の魅力を知ることができる民泊を続けてほしい。	交流人口及び関係人口の拡大に引き続き取り組み、民泊など体験型観光の推進にも努めてまいります。	交流推進課
12	基本目標1	陸前高田市は震災からの復興や海産物、ピーカンナッツなど多くの特産品を有し、近年その魅力の発信の動きが徐々に見られるように感じている。しかし他地域と比較するとまだその動きは小規模であり、より積極的に情報発信を進める必要があると考える。例えばSNSを活用して若年層の関心を高めること、さらにそうして発信したことによって訪れた観光客の滞在を促し、より印象深い思い出を創出していくことが重要だと感じる。	本市の魅力に係る情報発信をより推進していくべきではないか。	市では公式SNS等を通じて魅力発信に努めているところであり、今後も紙媒体やデジタルツールの戦略的活用や、地域資源をストーリー化した情報発信を推進するとともに、市民の皆様にも地域の魅力を再発見・発信していただくことで、行政と市民が一体となったプロモーションを展開してまいりたいと考えております。	企画政策課

No.	該当項目	意見原文	意見の概要	意見に対する市の考え方	担当課室
13	基本目標1	現在では、民泊を活用した自然体験事業が少しずつ行われてきているが、観光客の中には民泊に少し抵抗がある人もいると考えられるため、これから多様な宿泊施設をつくっていくことも必要であると思う。	観光客には民泊に抵抗がある人もいると考えられるため、多様な宿泊施設をつくる必要があるのではないか。	多様な宿泊ニーズに対応できるよう新しくオープンするドリーミンexpress等とも連携を図りながら取り組みを進めてまいります。	商工観光課 交流推進課
14	基本目標1	空き家提供、家賃補助など福利厚生の実施。	空き家提供、家賃補助等、移住定住につながる取り組みを推進してほしい。	空き家バンクによるマッチング支援や新婚世帯への家賃補助など制度の実施に努めてまいります。	交流推進課
15	基本目標2	海産物、米崎りんご、たかたのゆめなどをアピールする。	本市ならではの農林水産物をPRしてほしい。	農産物に関しましては、ふるさと納税等を通じて、主に米崎りんご、北限のゆめ、たかたのゆめを全国にPRしているほか、たかたのゆめは田植え式及び稲刈り式を開催し、川崎フロンターレ様と連携しながらPRに努めております。 水産物に関しましては、これまでも東京都下北沢でW(ワカメ)-1グランプリを開催することで、近隣の販売店で本市のワカメの取扱いが開始されるなど、PR効果が発揮されているところであります。 また、牡蠣やイシカゲ貝などの養殖水産物に関しましても、市から広田湾漁業協同組合に対して周知活動に係る支援を行っており、これからも安心・安全・高品質な広田湾産水産物の知名度の向上に努めてまいります。	農林課 水産課
16	基本目標2	私は市内での開業を目指し、チャレンジショップへの応募・検討を行いました。その中で強く感じたことがあります。 店舗区画に上下水道設備が整備されていないため、開業希望者が多額の初期費用を自己負担しなければならない状況は、創業を志す人にとって大きなハードルになっているという点です。 私はやむを得ず出店を断念しましたが、同じように「陸前高田市で挑戦したい」と考えている方は他にもいるのではないかと思います。特に美容業、動物関連サービス業など、水回り設備が不可欠な業種にとっては致命的な課題です。 実際に準備を進め、具体的な費用を知ったときの落胆は大きく、志があっても環境面で断念せざるを得ない現実に悔しさを感じました。 人口減少対策や関係人口の創出、地域内経済循環を掲げるのであれば、挑戦したい人が一歩を踏み出しやすい環境整備が重要だと感じます。チャレンジショップという制度の趣旨をより活かすためにも、最低限の上下水道設備の整備、もしくは設備導入に対する補助制度の検討をお願いしたいです。 陸前高田市で事業を始めたいという思いを持つ人が、安心して挑戦できる環境づくりをご検討いただければ幸いです。	チャレンジショップに係る上下水道設備の整備に関する支援を検討してほしい。	チャレンジショップについては、市内で企業を目指す方が、将来の独立に向けた経営ノウハウの取得や顧客の獲得を支援するために整備したものであり、入居期間は最大6年までとなっていることから、必要最低限の設備としているところです。上下水道設備の整備については、ご意見として今後の運営の参考とさせていただきます。 一方で、市内ではテナントの不足により、チャレンジショップを卒業した後の独立の大きなハードルとなっていることについては、市としても課題であると認識していることから、引き続き新規起業支援制度の周知に努めてまいります。	商工観光課
17	基本目標2	観光スポットは海外の人、若い世代から大人まで人気だから話題になりやすい。話題になり商業施設などが増えていけばより住みやすい街になって、人口増加にも繋がり、市民が他の都道府県に移住しない、離れられない街になる。	観光スポットや商業施設が増えていけば、より住みやすいまちになり、人口増につながるのではないかと。	観光スポットや商業施設の充実、来訪者の増加のみならず、市民の皆様の利便性向上や地域のにぎわいの創出にもつながる重要な施策であると認識しております。 観光スポットについては、SUPなど新たな地域資源を活かした観光振興に取り組んでまいります。商業施設については、事業者の活動を後押しする環境整備等に取り組むことで、住みやすさの向上に加え交流人口・関係人口の拡大を図り、将来的な人口の確保に努めていきたいと考えていることから、基本目標2の基本施策②に盛り込むこととします。	商工観光課

No.	該当項目	意見原文	意見の概要	意見に対する市の考え方	担当課室
18	基本目標2	人口減少も課題だが、飲食店や子供、高齢者が楽しめる店が少ない。誰もが立ち寄れる場を設けて、建てられれば、観光客も増えるし、住みたいと思える街になると思います。今だと行く場所が限られてしまっているので、震災前のような商店街など立ち並ぶ街作りをした方がいいと思いました。	誰もが楽しめる店を増やし、活気ある商店街が立ち並ぶまちづくりをしてほしい。	震災により市外に行かないと購入できない分野があることや、若者が利用できる店舗が少ないことは、市としても課題として認識しており、新規起業者の育成や事業拡大の推進により、新たな店舗の進出を促進させることや、企業誘致の促進に努めてまいります。また、市街地に店舗を持つ事業者が連携し、個店の魅力向上や、定期的なイベントの開催による集客の促進に取り組んでいることから、市としてもこれらの活動を支援することで、活気ある商店街の育成と魅力あるまちづくりを進めていくため、No.17と同様、基本目標2の基本施策②に盛り込むこととします。	商工観光課
19	基本目標2	市内外と関係を持つことで高田の魅力を知る方が国内外問わず増加すると感じました。また若者や女性が自分の選択をできるまちづくり・子供を生みたいと思える支援をするなどなど、多くの方が安心して暮らせるまちづくりという方針が今の、そして未来の高田には欠かせないことだと思います。けれど、私は安心して暮らせるだけでなく楽しく暮らせると更に良いまちになると考えます。子育ての支援だけでなく、子供たちが娯楽を楽しむ場所や意見を交流し合う場などが増えると良いのではないかと思います。	子どもたちが娯楽や交流を楽しむ場が増えると良い。	子どもたちが娯楽を楽しみ、意見を交わす場が不足していることは認識しているため、市内の商業事業者とも密に連携を図り、そのような交流の場を少しでも多く創出できるよう、No.17と同様、基本目標2の基本施策②に盛り込むこととします。また、子どもの遊び場として新たな遊具の設置や保育園の園庭開放などを実施しており、遊び場の拡充に向けて既存施設の活用を含めた検討を続けてまいります。	子ども未来課 商工観光課
20	基本目標2	新しく魅力を発信していくための企業やブランド品を作りやすくすることが大切だと思いました。	新しく魅力を発信していくための企業やブランド品を作りやすくする環境整備を進めてほしい。	新規起業や本市の農林水産物を活用した新商品の開発を支援することにより、本市の魅力をより発信し、雇用の創出やふるさと納税の増加に努めてまいります。	商工観光課
21	基本目標2	私がSNSを利用していた際に、陸前高田市についての投稿を見かけました。そのとき、自分の故郷を誇らしく思えて、とても嬉しかったです。地域の良さを伝えるには、影響力のあり若い世代たちが利用しているSNSを使うのが適していると思います。ですが、ただ良さを伝えるのでは、若者の心は掴めないと思います。だから、何か一つでも工夫をするといいと思います。その工夫次第で目をつけてもらえるかももらえないかが決まると私は感じました。私はあまり多くSNSを使わないですが、ぜひ参考になると嬉しいです。	SNSを活用し、若者の心を掴む情報発信をしてほしい。	No.12と同様、各種SNS等を活用し、若者を含めより多くの人に本市の魅力を知っていただけるよう、様々な工夫を検討しながら情報発信に努めてまいります。	企画政策課
22	基本目標2	基本目標に対する具体策はというとなかなか難しい。世の中全体が景気が悪くて生活に歪みが出ている時のカンフル剤があればと思う。世界的混乱に巻き込まれ、戦争への道へ巻き込まれないことを願う。	世の中の景気悪化に対する方策があればと思う。	地域経済の活性化を図るため、商工会と連携した中小企業への支援や、プレミアム付き商品券の発行による消費喚起策などを実施してまいります。	商工観光課
23	基本目標3	子育ては、お金もかかるし、心も身体も大きな負担がかかるので女性だったらあまり子供を産みたくないって思うと思います。そんなときに、子育ての制度などがあることで少し心も救われると思いました。「こども家庭センター」を知らない人もいると思うので少しでも知ってもらうために広報などに記載したり、お金はかかっていますが、20歳以上の女性がいる家庭にチラシを配ったりすれば認知度が高まると思いました。	「こども家庭センター」の認知度向上に取り組んでほしい。	母子保健を担当する保健課と児童福祉を担当する子ども未来課の両機能を合わせた「こども家庭センター」を令和7年4月に設置し、相互の連携を深めて妊産婦や子育て家庭への支援を行っています。これまでも両課の個別事業や各種支援制度の情報を広報や市ホームページ等で発信しておりますが、今後はこども家庭センターとしての周知にも努めていくため、基本目標3の基本施策①に、施策の周知について盛り込むこととし、市広報やホームページ、公式LINE等の様々な媒体や機会を活用しながら周知に努めてまいります。	子ども未来課
24	基本目標3	保育に関する制度やサービスの周知をしてほしい。	保育に関する制度やサービスの周知をしてほしい。	各種制度やサービスなどの子育てに関する情報を必要としている方にお届けできるよう、No.23と同様、基本目標3の基本施策①に、施策の周知について盛り込むこととし、市広報やホームページ、公式LINE等の様々な媒体や機会を活用しながら周知に努めてまいります。	子ども未来課

No.	該当項目	意見原文	意見の概要	意見に対する市の考え方	担当課室
25	基本目標3	年々課題となっている少子高齢化が進む中、このような支援を行うことにより少しでも少子高齢化が減速し、人口問題解決の一步となるのでいいなと思いました。	基本目標3に掲げる施策が、人口問題解決の一步になると思う。	少子高齢化や人口減少が進む中であっても持続可能なまちをつくっていけるよう、各種施策を推進してまいります。	企画政策課
26	基本目標3	基本目標2、3に関わって、私は将来地元で保育士として働くことを希望しています。基本目標3に書いてある結婚、妊娠、出産、子育てまでを切れ目なく支援するためには保育士が欠かせないと思います。しかし、現在は保育士が不足しています。そのため、研修場所の確保などの保育士向けの支援も強化してもらえると保育士も安心して働くことができ、子育てを支援することにもつながると考えました。	保育士向けの支援を強化してほしい。	全国的に保育人材が不足している中で、本市においても保育士の確保は大きな課題であると考えています。このことから、市内における保育士の確保及び定着を図るため、奨学金を利用して保育士資格を取得し、市内の民間保育施設に就職した保育士の奨学金返還費用の一部を支援する制度を令和8年度から始めることしております。(総合戦略素案P57に記載)また、保育・子育て分野に従事する人材を養成するため、子育て支援員研修を実施して保育人材の確保を図っております。今後においても、保育士支援と安定した保育体制の確保に努めてまいります。	子ども未来課
27	基本目標3	各保育施設の定員割れの状況をどうしていくのか。	定員割れしている各保育施設の今後の方向性を示してほしい。	保育施設の将来的な方向性については、今後の児童数の推移等を見据えた上で、保育の提供体制の観点や施設の地域バランス等も考慮する必要があることから、陸前高田市保育協会とも協議しながら検討してまいりたいと考えております。	子ども未来課
28	基本目標3	妊婦と母子への支援は手厚くなったが、中高生のような発育ざかりの子どもでお腹をすかせて困っているのは支援されているか、把握されているか心配。	中高生の生活状況の把握、支援は十分に行われているか。	経済的に困難度が高い子育て世帯等への食糧支援や制服リユース事業による支援を関係機関と連携しながら実施しています。今後も状況把握に努め、適切な支援を継続してまいります。	子ども未来課
29	基本目標3	高齢者の独居は特に冬場が心配。早めの対策が必要ではないか。	独居高齢者への支援の充実が必要ではないか。	市では配食サービスや高齢者サロンなどにより、高齢者の見守りや居場所づくりに努めているところです。	福祉課
30	基本目標4	誰もが住みやすい街にするために支援やサポートも充実させていって欲しい。町の交通やサービスを整え、快適に過ごせるまちづくりをすると良いと思う。	まちの交通環境を整え、快適に過ごせるまちづくりを進めてほしい。	誰もが住みやすい街を目指して、引き続き交通施策を進めてまいります。	まちづくり推進課
31	基本目標4	お年寄りが増加するのに、店が遠い問題。	高齢化が進展していく中で、高齢者が買い物等するための商業施設が遠く不便するため、対策を検討してほしい。	市内では広田町や矢作町で商業施設がない状態となっており、安心して生活を維持できる環境の確保は、市としても重要な課題であると認識しているところです。公共交通機関の確保やデマンド交通の充実と併せ、民間事業者が行う移動販売支援や、AIを活用した新たな小規模店舗の展開について、引き続き検討を行ってまいります。	商工観光課
32	その他	概要版(漫画バージョンを含め)には基本目標は記載されているものの、その方法論が記載されていません。「総合戦略を支える3つの視点」はわかりにくいので、「対話が拓く共創のまちづくり」という基本方針を入れてはいかがでしょうか。	概要版に、基本目標に対する方法論が明記されていない。	概要版及び概要漫画は、素案の内容がより分かりやすく簡潔に伝わるよう、パブリックコメントの参考資料として作成したものです。今後、同様の資料を作成する際には、方法論を伝えるための視点にも意を用いてまいります。	企画政策課